

町田市議会議員 **若者育成の街**

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会

東京都町田市森野
2-2-22(〒194-8520)
☎042-724-2171「保守の会」会派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726

インターンシップ好評

多摩都市モノレール基金削除に反対討論

わずか4年目に基金積み立てを中止した予算

令和3年度(2021年)町田市一般会計予算に、「町田市多摩都市モノレール基金」の積立金が入っていませんでした。あれほど、多摩都市モノレール町田延伸の建設促進のために、市長が4期目当選を決めて最初の議会において、鳴り物入りで基金創出を提案し、議会が全員一致で承認したのに、今期は、あっさり市長提出予算の中で削除されていました。

その条例では、第1条：多摩都市モノレール線の町田市方面への延伸に必要な資金を積み立てるため、町田市多摩都市モノレール基金(以下「基金」という。)を設置する。(積立額)に関して、第2条：基金として積み立てる額は、毎年度予算で定める。としています。

2018年度より、毎年2億5千万円を積み立て、3年目の2020年度で7億5千万円に達していたのに、市長が施政方針で一切触れることなく、委員会でも担当者から何の説明もなく、予算書を詳しく読み込む内に、それが削除されていることを発見したものです。他方で、工芸美術館建設には40億円を見込んでいます。

このような市の交通網整備方針を軽々しく変更して、削除した予算を承認できず、反対討論に立ち、市長と対抗する姿勢を明白にしました。



令和3年度の予算の特徴と問題について

削減・カットしたものと膨張・拡大したもの

町田市の本年度予算は、歳入：52億円減の636億円であるのに、歳出が一般会計1738億円、特別会計3003億円と過去最高になっているほか、さらに、起債高も過去最高になっていることも特徴です。介護分野、医療分野は自然成長的に増加し、あるいは子育て関連は政策的に増加してきたことである面では、この歳出は必然的と言えましょう。



緊急事態制限中の観光バス発着場

しかし、行政の説明では、町田市の政策支出には廃止から重点施策までするように述べていましたが、廃止とされた事業が具体的に見えませんでした。*改めて、この具体的な事業名と内容を調べて報告致します。

私が気づいたものでは、左記の「町田市多摩都市モノレール基金」が全額カットされていました。交通関係では、地域のオンデマンド交通の研究予算も全額カットとされていますが、市長の頭では緊急性が無いと判断されたのでしょうか。他方で、町田市とは縁が無い(仮称)国際工芸美術館建設と関連工事予算は判明分だけでも今後40億円以上の予算設定が見えています。

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員

情報公開

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ



ホームページ



Eメール

メールは
左記を読込
して送信

インタビュー生募集中

コロナ以降の市民病院内事業者の苦境

日本全土でコロナ感染が進むことにより、医師・看護師さんなどの苦境改善が重要課題になり、議会でもその人たちの給与の待遇改善予算に一致して賛成したところです。

市民病院内でそれ以外の仕事では、まず警備や清掃の業務委託は、コロナ発生以降において、契約内容に変化は起きていないとのことでした。直接の業務は減少した部分があるでしょうが、仕事の手順が複雑になっていると思います。また、定期建物賃貸借のレストランの営業も大きく制限され、当初は営業時間短縮、その後は休業に追い込まれ、カフェは持ち帰りに限定されているとのことでした。そのほか、行政財産目的外使用の分野では、自動販売機が設置されていますが、当然、売り上げは大きく落ちているものと思われます。さらに、「理容」サービスが行われていますが、院内の利用者がめっきり減ることで、その業務を定時で依頼されている側にとっては、時間の拘束ばかりになっていることが明らかになりました。義務的な営業時間、営業日数を減らし、派遣元の本業に充てる割合を増やしてもらう以外にその従事者を救済する方法はないものと思っています。



町田市は自前で区画整理を実施すべし

「第41号議案 町田市都市計画事業鶴川駅南土地地区画整理事業に関する業務委託契約」に関して、あえて反対しました。委員会で質疑をした議員があり、私も尋ねようと思った内容でしたので、自分ではその質疑の結論部を前取りした感じでした。



この事業自体は、小田急線鶴川駅の東側を再開発するもので、町田市域だけでなく、川崎市麻生区岡上地域との交通利便性が飛躍的に向上するものです。「財団法人 東京都都市づくり公社」に委託契約したその金額は5,653,845,000円、契約期間は、契約確定から2032年3月31日となっており、11年間というロングランとなっています。周辺住民の皆さんにとっては、数十年來の懸案となってきたもので、事業自体は肯定できるのですが、業務の委託先が疑問です。こうしたものは市が直轄でやるか、純粋な競争原理でやるかのいずれかが良いと考えた次第です。とりわけ、川崎市政にも大きな影響(利便性)を与えるものですから、川崎市の協力(財政的負担)も提起するのが両者の利害と考えられるものです。

★成瀬クリーンセンターでは、市民の方の見学も歓迎されています。周辺地域への気配りで匂い除去には細心の注意が払われていました。そのため、施設自体が密閉式となっています。水処理の部門では、全国トップクラスの施設技術が導入されています。

町田市議会議員 **支持政党なし****吉田つとむ**

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会
保守の会〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL 042-724-2171
自宅 042-795-7361

市議会の傍聴・見学

国際工芸美術館の展示物は並みクラス

町田市が工芸美術館を造って展示しようというものにはどのようなものがあるかの観点で見つめると、収蔵作品が観覧者に感動を呼ぶような銘品が含まれているか、本来は唯一性を持つものがあるかと言えば、そのような雰囲気を持ったものがあるとは思えないのです。そのことは、一昨年開催された、サントリー美術館の工芸品の展示会を見れば、理解できるものです。町田市の所属品が59点も出ているということでしたが、その内の50点以上は鼻煙骨(びえんこ)というもので、その全部がわずか畳1枚にも満たないスペースに置かれ、ある意味、一山いくらの感を持たざるを得ないものでした。

比較するのであれば、地元成瀬の「なずな遺跡」から発見された古代の耳飾り(ピアス)を展示するのであれば、地元歴史、文化を今に伝える工芸品として価値があるでしょう。しかし、(仮称)国際工芸美術館の設置意図の中には、そうした歴史を大事にする発想は皆無となっています。収蔵品の大半は、雑多なガラス器、中国などの陶器類となっており、町田市が所有する作品と、町田茶道会の方々がお茶席で使われる自慢の道具の方が優れているというのが、正直な感想でした。

**バイオエネルギーセンターの建設状況**

町田市は、リサイクルセンターの施設を全面的に造り変え、施設にバイオエネルギー化を図る工事を進めています。

生ごみを発酵し、メタンガスエネルギーを取り出す技術を採用するものですが、一般の可燃ごみとして収集したゴミを重量にえり分ける装置を付け、紙類のような比較的に軽いものも一緒に取り込み分別するシステムが採用されています。



視察で下記とは他市の施設も見学する

京都府南丹エリアで小規模に実施されている施設をベースに、町田市が採用するものですが、実用化が進めば、効率的再生エネルギーが生まれることとなります。建設常任委員会で、南丹の施設の運行状況を尋ねると、その後も問題がないというものでした。町田市のごみ処理施設は、その規模が7-8倍にも達することでその一部でも故障が生じると、施設全体がストップすることになるので、メーカー保証が大きな意味を持っており、順調な運転を期待しています。

●コロナワクチンの接種は、4月から高齢者からスタートすることにされていますが、本来、大勢の人と対面する仕事に従事する方々を対象にするべきだという考えが適切だと思っています。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集



ブログ



ホームページ



Eメール

メールは
左記を読み
込んで送信



町田市議会議員

中学校給食の温かい給食への導入転換

寺田前市長時代に導入され、市内の「協同組合町田給食センター」が供給する形で行われてきた中学校給食（選択式弁当）でしたが、石坂市長によって市外業者が担当することになりました。生徒の人気の高まらず、希望者が1割を切るまでになった結果です。



参考で見学試食した八戸市の給食・この日はパン

中学校給食の改善について、市民請願や議会の要望が強くなり、ようやく、町田市が公設民営で新設する全員給食スタイルの方式に全面転換することになりました。最後の説明で、「コロナ」に起因するような経過を述べたことが役人らしい分析でしたが、事実経過は現行の選択式給食弁当が中学生に不評で注文者が激減していることが原因でした。

一番の改善点は、「食缶」を用いて暖かい給食を提供すること、次いで、「汁物」も提供されることです。さらに、現行の弁当は保管室まで生徒個人が引き取り・返却する方式であるために、生徒の昼休みが大幅に短くなる欠点がありましたが、給食が全フロアまで運ばれる供給システムが取り入れられることにより昼休み時間の確保が満たされることとなります。実施まで、一定の時間を要しますが、大きな前進です。

花粉症対策と樹木の植替間伐

一般質問：「花粉症対策について」には、まず個人レベルの対策に関して、保健所長から答弁がありました。マスク、メガネの使用、家に帰った時に衣服についた花粉を払い落とすことの重要性、あるいは治療用の薬の使用では個人差があるので、医療機関で医師との相談の重要性が指摘されました。

他方、花粉症の発生原因となるスギ・ヒノキの人工林の扱いは、経済観光部長が答弁し、東京都では2種類の対応が取られていました。持続的に木材生産を行う「生産型森林」では、現在の林を主伐し、花粉の少ない樹種に切り替える樹種の更新を図っているとのことでした。また、奥山などの「保全型森林」では、林の間伐（森林再生事業）とその一部を針葉樹と植え替え、広葉樹の混合林化を図る方法（色彩豊かな森事業）も取っているとのことでした。町田市内の大地沢青少年センター周辺は、「保全型森林」に相当し、「森林再生事業」が進められているとのことでした。2023年度末までに、スギ・ヒノキの本数は60%以上削減されているとのことでした。

花粉症の発生を伴わない雑木林の確保と、保全林での針葉樹の早期増加が不可欠といえましょう。



★ 支持政党なし・市議会は「保守の会」

G-mail : yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp/>

動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

町田市議会は、ほぼ全員が一般質問を行います。30人以上の定員の議会では珍しいことです。